資料2

平成２９年度 第４回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨（案）

日　　時　　平成３０年２月９日（金）　１４：００～１６：５５
場　　所　　琉球大学医学部 管理棟３階　大会議室
構 成 員　　３９名　（欠席者９名）

１号委員	（琉大病院長）	藤田　次郎
２号委員	（県立中部病院長）	本竹　秀光（代理）比嘉真利子
	（那覇市立病院長）	屋良　朝雄
３号委員	（県立宮古病院長）	本永　英治（欠席）
	（県立八重山病院長）	依光　たみ枝（欠席）
	（北部地区医師会病院長）	諸喜田　林（欠席）
５号委員	（沖縄県医師会長）	安里　哲好（代理）玉城信光
６号委員	（沖縄県歯科医師会長）	真境名　勉（欠席）
７号委員	（沖縄県薬剤師会長）	亀谷　浩昌
８号委員	（沖縄県看護協会長）	仲座　明美（欠席）
９号委員	（沖縄県政策参与）	村田　謙二
１０号委員	（沖縄県保健医療部長）	砂川　靖（代理）糸数　公
１１号委員	（琉大がんセンター長）	増田　昌人
１２号委員	（琉大医療福祉支援センター長）	藤田　次郎
１３号委員	（琉大薬剤部長）	中村　克徳
１４号委員	（琉大看護部長）	大嶺　千代美
１５号委員	（琉大事務部長）	熊谷　圭司（代理）金城不二子
１６号委員	（県立中部病院副病院長）	玉城　和光（欠席）
	（県立中部病院血液腫瘍内科部長）	朝倉　義崇
	（那覇市立病院外科統括科部長）	宮里　浩
	（那覇市立病院外科部長）	友利　寛文
１７号委員	（県立宮古病院外科部長）	松村　敏信
	（県立宮古病院副院長）	本村　悠子（欠席）
	（県立八重山病院副院長）	渡口　直子（代理）金城美奈子
	（県立八重山病院医療部長）	松茂良　力（欠席）
	（北部地区医師会病院副院長・看護部長）	柴山　順子
	（北部地区医師会病院副看護部長）	我如古　春美
１９号委員	（沖縄県がん患者会連合会相談役）	田仲　康榮（代理）安里香代子
	（がんの子供を守る会沖縄支部代表）	片倉　政人
	（公益社団法人日本ｵｽﾄﾐｰ協会沖縄支部長）	大城　松健
	(ゆうかぎの会(離島圏におけるがん患者支援を考える会)会長)	真栄里　隆代
２０号委員	（国際医療福祉大学大学院教授）	埴岡　健一
	（一般社団法人ｸﾞﾙｰﾌﾟ・ﾈｸｻｽ理事長）	天野　慎介
	（沖縄タイムス編集局運動部副部長待遇）	儀間　多美子
２１号委員	（琉大病院歯科口腔外科長）	新崎　章（代理）河野俊広
	（琉大病院病理部長）	加留部謙之輔
	（琉大病院第一外科長）	西巻　正（代理）狩俣弘幸
	（琉大病院小児科講師）	百名　伸之（欠席）
	（那覇市立病院放射線科部長）	足立　源樹

部会報告者	緩和ケア部会長	笹良　剛史
	がん登録部会長	川満　ユカ
	相談支援部会	島袋　幸代（代理）増田昌人
	普及啓発部会長	松野　和彦

陪　席　者	琉球大学医学部附属病院地域医療部特命准教授	中島　信久
	沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班主査	荻堂　麻紀子
	奈良県医療政策部保健予防課がん対策係係長	大井　久美子

冒頭

〇藤田議長による協議会開会宣言後、前回会議の際に実施した毎年恒例の、がん検診啓発ポスターコンテストの結果報告と表彰式を執り行った。

１．感謝状授与

藤田議長から、株式会社宮平乳業 代表取締役社長 宮平隆一氏に対して、感謝状の授与があった。

２．がん検診啓発ポスターコンテスト表彰式

藤田議長から、がん検診啓発ポスターコンテストについて、次のとおり表彰状の授与があった。

賞	学校名	学年	氏名
最優秀賞	沖縄県立開邦高等学校	1年	平良　瑚雪
優 秀 賞	沖縄県立開邦高等学校	3年	仲本　すみれ
	うるま市立与勝中学校	3年	比嘉　茜
	沖縄県立浦添工業高等学校	2年	與那覇　三稀

〇表彰式終了後、議事進行に先立ち、奈良県医療政策部保健予防課がん対策係長大井久美子氏の陪席について藤田議長から説明があり、自己紹介が行われた。

議事要旨・議事録・委員一覧

１．平成29年度第4回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨（1月22日開催）

増田委員（11号委員）から、資料1の第4回幹事会議事要旨（平成30年1月22日開催）の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

２．平成29年度第3回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨（11月10日開催）

増田委員（11号委員）から、資料2の第3回協議会議事要旨（平成29年11月10日開催）の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

３．平成29年度3回沖縄県がん診療連携協議会議事録（11月10日開催）

増田委員（11号委員）から、資料3の第3回協議会議事録（平成29年11月10日開催）の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

４．協議会・幹事会・部会委員一覧

増田委員（11号委員）から、資料4に基づき部会委員の変更について報告があった。

有識者報告事項

１．埴岡委員報告

埴岡委員（20号委員）から資料5に基づき、新がん計画の読み比べ～全国の均てん化を加速するために～〈速報・仮チェック〉について説明があった。なお、各都道府県のがん計画および医療計画について読み比べをしたい方は、提供可能なので、申し出ていただきたい旨、補足があった。

その他、関連して次のような意見等があった。

・奈良県医療政策部保健予防課がん対策係大井久美子係長

５年生存率の数値目標について、他県を参考にしたい。

・沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班荻堂麻紀子主査

沖縄県がん対策推進計画について、現在パブリックコメント期間中である。医療分野について、本協議会、各拠点病院およびがん診療に携わる各医療機関と診療連携、協力していく方針のため、引き続き、沖縄県のがん診療連携体制充実強化にご協力いただきたい。

・笹良剛史緩和ケア部会長

緩和ケアの具体的な内容等について実効性のあるものにしていくため、参考としたい。

・琉球大学医学部附属病院地域医療部中島信久特命准教授
緩和ケアについて、基本情報の共有および各拠点病院でキーマンとなるようなエキスパートの育成に取り組んでいくことにより、沖縄県全体のレベルアップを図っていきたい。

２．天野委員報告
天野委員(20号委員)から資料6に基づき、全国がん患者団体連合会「がん患者学会2017」等について説明があった。
その他、関連して次のような意見等があった。
・安里氏（沖縄県がん患者会連合会田仲委員（19号委員）の代理）
全国がん患者団体連合会「がん患者学会2017」に参加し、情報共有が重要であると感じた。
・藤田議長
島根県計画の冒頭書き出し「がん対策の始まりはがん患者からの声」という記載は、医療従事者に意識していただきたい内容である。がんゲノム医療中核拠点病院について、九州地区ではおそらく九州大学が指定され、琉球大学はがんゲノム医療連携病院に申請予定である。九州大学で研修を受けた外来化学療法室専従医師(臨床腫瘍学会専門医取得)がおり、また、九州大学の大学院で学んでいる医師が4月に第一内科に戻ってくるため、九州大学とのパイプができる。
・加留部委員(21号委員)
がんゲノム医療中核拠点病院およびがんゲノム医療連携病院について、注視していきたい。研究においてのがんゲノムと臨床においてのがんゲノムを比較しながら診断に活かしていきたい。

審議事項

１．沖縄県がん診療連携協議会として今後取り組む項目について
増田委員(11号委員)から資料7に基づき、説明があった。
その他、関連して次のような意見等があった。
・玉城氏（沖縄県医師会長安里委員（５号委員）の代理）
沖縄県医師会においては、がんだけでなく糖尿病等あらゆる分野について検討している。糖尿病学会では、インターネットを通じた講習会の受講でも、専門医と認定されるため、離島における糖尿病の専門医もわざわざ沖縄本島の講習会に出てくる必要がない。がん治療においても、沖縄県を中心としたweb講習ができればよい。
乳がん治療については、沖縄県の乳がんによる死亡ゼロを目指して協議会を毎年行っていて、また新薬の治験がたくさん出てきているため、最先端の治療を提供できる体制ができている。治験をすすめるということも、がん対策の一つになる。
・亀谷委員（７号委員）
地方の薬剤師に対して、がん治療への対応力を高めるようなeラーニング等も行った方がよい。

２．専門部会の再編について
増田委員(11 号委員)から資料 8 に基づき、 専門部会の再編について説明があった。なお、提案についてはたたき台のため、全ての専門部会のコンセンサスが得られているわけではない。専門部会と並行しながら幹事会および協議会から意見をいただきたい旨、補足があった。
本件について、まずは提案のとおり進めていき、足りない部分は補っていくという方向性で進め、2(5)ライフステージに応じたがん対策、2(6)それぞれのがんの特性に応じた対策、2(7)離島及びへき地対策については、別の部会または WG について検討することとなった。
その他、関連して次のような意見等があった。
・天野委員(20号委員)
大枠としてはよい。ライフステージに応じたがん対策について、ライフステージは横串的なものなので、縦串的な従来の部会とはそぐわない概念である。高齢者のがん医療は、部会全てで共通するテーマであるが、一方で、小児・AYA世代のがん医療は、特殊な医療、支援体制のあり方を検討する必要があり、提示された部会ではカバーしきれないため、小児・AYA世代については、別の部会やWGを立ち上げる必要があるのではないか。
離島及びへき地対策についても、全ての部会に共通するテーマであるが、一方で、沖縄県特有の事情があるため、別の部会やWGの立ち上げについて検討しないと埋もれてしまう可能性がある。

・増田委員（11 号委員）
小児・AYA 世代のがん医療について、中心となる百名医師および南部医療センター・こども医療センターと調整、検討したい。
・真栄里委員（19 号委員）
患者支援だけでなく、医療者の育成および医療の充実等について、対策をたてるための話し合いの場が必要である。
・沖縄県保健医療部糸数保健衛生統括監（10 号委員砂川委員の代理出席）
沖縄県の計画と同じ作りのがん政策部会の指標について、本協議会で定期的に確認することにより、沖縄県の計画も全体的に確認することができるという補完的な関係にある。
毎年入れ替わる県立病院人事のへき地医療に対する影響が大きいため、へき地でのがん治療についてどこまで完結できるようにするのかというメルクマールを設定する必要がある。
がん診療連携拠点病院等の要件が今後見直されるため、国の要件と齟齬がないように調整が必要である。
・琉球大学医学部附属病院地域医療部中島信久特命准教授
離島における緩和ケアについて、e ラーニングも一つの手段だが、フェイストゥフェイスで医療者が苦慮していることについて話し合う場も必要である。離島から沖縄本島に来てもらうより、沖縄本島から離島に出向き、交流の場を提供し、ボトムアップを図っていくことで解決できる。
・増田委員（11 号委員）
離島でのがん治療について、どこまで完結できるようにするのかという根本的なことを議論する必要があるということについて、幹事会で意見がでた。離島及びへき地について、部会および WG の設置を検討し、次回協議会で提案したい。
・安里氏（沖縄県がん患者会連合会田仲委員（19 号委員）の代理）
離島での緩和ケアについて、自分が住んでいる地域で最終的に亡くなるまで安心して緩和ケアを受けたいというアンケート結果がでている。緩和ケアについて、専門の看護師が必要であるということが問題となっているかもしれない。離島でのがん治療について、ここまでなら治療できるというという情報があれば、患者が安心できる。
・大嶺委員（14 号委員）
平成 30 年度から沖縄県看護協会において、緩和ケアリンクナース認定看護師の育成事業が開始され、緩和ケア認定看護師を 20 名育成予定である。
・玉城氏（沖縄県医師会長安里委員（５号委員）の代理）
八重山における乳がん治療について、手術は沖縄本島で行うが、手術前の抗がん剤治療については八重山の県立病院および民間病院と連携して乳がん学会のエビデンスに基づいたレジメンで行っている。術後のケアについても、月一回、沖縄本島から八重山の提携病院に出向き、検査を行っている。今後は緩和ケアについても八重山で行うことが可能である。個別の診療については離島の病院と連携して行っているが、全体的なことについては会議の場で議論する必要がある。
・沖縄県保健医療部糸数保健衛生統括監（10 号委員砂川委員の代理出席）
市町村では科学的根拠に基づいた検診を行い、精密検査が必要な住民に対してはその旨通知しているが、精密検査結果報告が市町村になかなか送付されない。この未把握率が沖縄県は全国でも最低レベルにあり、検診の精度管理を向上させる必要がある。改善に向け、市町村と検診を請け負っている医療機関および検診機関に対して、紹介状の取扱いに関する課題及び精密検査結果報告を市町村へ送付する上での課題等について、研修会を開催する予定である。必要に応じ、結果について情報共有することは可能である。
・埴岡委員（20号委員）
各部会は中間アウトカム指標および最終アウトカム指標を共同で担い、ベンチマーク部会で全ての中間アウトカムおよび最終アウトカムを取り揃え、本協議会にて確認し、その後各部会に持ち帰るという作業をすることとなる。
・真栄里委員（19 号委員）
沖縄県の患者支援について、資料１を確認して初めて平成 29 年度から宿泊費等支援が開始されていたことを知ったが、市町村により回数および金額等にばらつきがあるため、どの市町村においても同様に患者支援が行われるよう工夫していただきたい。
・沖縄県保健医療部糸数保健衛生統括監（10 号委員砂川委員の代理出席）
平成 29 年度から新たに始めた事業で、がんに限らず難病等通院治療に係る渡航費、宿泊費等に

ついて、市町村が補助した1／2を沖縄県で補助するという仕組みを作った。市町村によるばらつきをなくす取り組みとして、先日、全市町村の担当者を集め、実施状況の確認を行った。

３．平成 30 年度の協議会・幹事会の開催の日時について

増田委員（11 号委員）から、資料 9 に基づき、協議会日程（案）の提案があった。なお、大きな学会は考慮しているが、出席できないようであれば、連絡いただきたい旨、補足説明があった。

４．その他

特になし。

報告事項

１．沖縄県第３次がん対策推進計画について

沖縄県保健医療部糸数保健衛生統括監（10号委員砂川委員の代理出席）から資料10に基づき報告があった。なお、平成30年１月26日から2月25日までパブリックコメントを募集しているので、ご意見いただきたい。また、がん診療を行っている医療機関の公表については、４月以降となる可能性がある旨、補足があった。

２．がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の受講率について

増田委員（11号委員）から、資料11に基づき報告があった。

３．大腸がん死激減プロジェクトの活動について

増田委員（11号委員）から、資料12に基づき、第3回大腸がん死激減プロジェクト連絡会議について報告があった。

４．「２０１５年症例院内がん登録集計報告書」の内容の改訂について

川満がん登録部会長から、資料13に基づき報告があった。なお、以下のとおり補足があった。

・二次保健医療圏別に5大がんと子宮頸がん、前立腺がんを集計し、ステージの割合に違いがあるか、また、二次保健医療圏別に当該医療圏担当施設によって、初回治療がどの程度実施されているかの集計結果を掲載した。
・5年生存率は、実測生存率による集計を予定していたが、国立がん研究センターの公表方法に則り、相対生存率の公表、掲載とした。
・詳細集計部位として、骨・軟部組織と、脳・中枢神経系を、医師の協力のもと集計し掲載した。
・改訂予定としていなかったが、医師よりご意見をいただき、小児・AYA世代の集計をひとまとめにおこなっていたものを、今回は分けて集計し掲載を行った。

その他、関連して次のような意見等があった。

・埴岡委員（20号委員）

P.13見かけ上進行度に差があるように見える。P.18　5年相対生存率（全国と沖縄県）病院別、部位別、総合ステージについて、検討いただきたい。

・天野委員（20号委員）

国のAYA世代の定義は15歳から39歳までとなっているため、同じ定義とした方が整合性がとれる。

５．沖縄県がん患者等支援事業の活動報告について

増田委員（11 号委員）から、資料 14 に基づき、がんで後悔しないためのヘルスリテラシーってなんだ？実施報告書等について、報告があった。なお、がんサポートハンドブック改訂について、次回協議会で報告予定である旨補足があった。

６．沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

増田委員（11 号委員）から、資料 15 に基づき、がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果等について報告があった。

７．厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会）（第12回）

８．厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会）（第20回）

９．厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会　副反応検討部会）（第31回、第32回）
10．厚生科学審議会（がん登録部会）（第8回）
11．職域におけるがん検診に関するワーキンググループ（第4回）
12．がん診療提供体制のあり方に関する検討会（第10回）
13．がん診療連携拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ（第2回、報告書、第3回、第4回）
14．がんゲノム医療中核拠点病院（仮称）等の指定要件に関するｻﾌﾞﾜｰｷﾝｸﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ（第3回）

増田委員（11 号委員）から、資料 16～23 に基づき、まとめて報告があった。

その他、関連して次のような意見等があった。

報告13について、沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班荻堂主査から、各拠点病院の担当者と担当者会議を行い、情報共有を行ったので、各病院内でも情報共有を行っていただきたい。がん診療連携拠点病院等の指定要件のうち、現時点で未充足の部分は、指定更新を行う平成30年度中に充足を求められることが想定される旨、補足があった。

15．その他

特になし

部会報告事項

１．緩和ケア部会

笹良部会長から資料24に基づき、緩和ケア部会の活動・取り組み状況について、報告があった。

２．がん政策部会（報告なし）

３．がん登録部会

川満部会長から資料25に基づき、がん登録部会の活動・取り組み状況について、報告があった。

４．研修部会（報告なし）

５．相談支援部会

増田委員（11号委員、相談支援副部会長）から資料26に基づき、相談支援部会の活動・取り組み状況について、報告があった。

６．地域ネットワーク部会（報告なし）

７．普及啓発部会

増田委員（11号委員）から資料27に基づき、普及啓発部会の活動・取り組み状況について、報告があった。

その他

増田委員（11号委員）から、当日配付資料に基づき、2月10日（土）に開催予定の沖縄県のがん対策に関するタウンミーティングについて、参加呼びかけが行われた。

安里氏（沖縄県がん患者会連合会田仲委員（19号委員）の代理）から、当日配付資料に基づき、2017年度離島がんフォーラム・異動サロンに寄せられた感想について報告があった。